

私は4年次を一年間休学し、ブラジル連邦共和国にあるサンパウロ大学へ留学しました。留学先としてブラジルを選んだ理由は、世界の農業大国であり、アマゾンはじめ多種多様な薬用植物有する新興国で、農業と薬用植物を学びながら語学力を身につけることで、将来は専門分野を活かして世界で活躍できる人材になりたいと考えていたからです。ここでは、留学での出来事や感想、そして留学を考えている皆さんへのメッセージを書きたいと思います。

ブラジルは BRICs の一つとして世界から注目される新興国であり、多くの移民で成り立つ多民族国家です。数多くの日系人が住んでおり、農業分野をはじめ多方面で活躍しています。そのため、私のような日本人が現地の街を歩いていると、現地人と間違われていきなりポルトガル語で話しかけられるというようなことも少なくありません。ポルトガル語で「信用できる日本人」(Japonês garantido (ジャポネース・ガランチード)) という言葉があることから、いかに日系人が信頼されているかがお分かりいただけると思います。

私が留学していたピラシカバ市は、サンパウロ市から高速バスで2時間程北上した場所にあります。サトウキビが有名で、市外に出ると見渡す限り一面のサトウキビ畑が広がっており、農業大国ブラジルに来た！と圧巻されるような景色です。そのピラシカバ市に100年以上前からある ESALQ (エザウキ) は、サンパウロ大学農学部のみで形成された南米一の農科大学です。キャンパスは広大で、敷地内には様々な作物が植えられた農場や、牛舎等があり、数えきれない程の建物が建ち並んでいます。

キャンパスのすぐ近くに Poko-Loce という名前のヘブブリカ(学生シェアハウスの総称)があり、そこで私は6人のブラジル人と1人の農大留学生の後輩と共に生活していました。非常に友好的なブラジル人の気質もあって、同居している学生だけではなく、その友人達も頻繁に遊びに来ており、多くのブラジル人に囲まれながら日々楽しく過ごしていました。こうした生活環境のおかげもあり、留学当初は全く話せなかったポルトガル語も、帰国の際には少し難しい日常会話もできるようになっていました。この時、改めて留学期間中の生活環境が大切であることを実感しました。

大学では講義だけではなく、自らコンタクトを取り薬用植物の研究室に所属していました。毎週行われる打ち合わせの他、多くの調査にも同行させていただき、ブラジルでしか見られないような多種多様の薬用植物について知ることができました。

また、大学関連の予定がない休日や休暇を利用し、ブラジル各地で活躍されている多くの農大の先輩方に大変お世話になりました。その際、先輩方が経営されている農場を見学させていただいたり、普段食べられない日本食をいただいたりしました。何十年も前に農大を卒業され、すぐにブラジルへ移住して数多くの苦難を乗り越えながら確固たる地位を築き上

げられた先輩方のお話しは、すべて今後の人生の為になる話ばかりでした。ブラジル校友会、農大会館はじめ、多方面でお世話になった先輩方に、改めて感謝申し上げます。

今回の留学を通して、世界の農業分野で働いていく礎を築けたと確信しています。それは、ひとつ屋根の下で共に暮らした友人達、留学先の先生方、ブラジルで活躍されている多くの農大の先輩方、そして日本から支えてくれた両親のおかげです。これからもお世話になった人達への感謝と繋がりを大切にしながら、自分の夢に向かって努力していきます。

帰国後、就職活動のために多忙な日々を送っていましたが、先日農薬事業部を持つ化学メーカーに内々定をいただくことができました。実はブラジルは世界一位の農薬市場であり、近年多くの日系農薬メーカーがブラジルに進出しています。私が入社する予定の会社も、昨年（2016年）ブラジルに現地法人を設立しています。将来はブラジルに駐在し、これまでの経験を活かして農家さんへ農薬の適正な使用法を普及させていきたいと考えています。2014年にW杯、2016年に五輪を開催し、世界から注目を集めるブラジルですが、政界の汚職問題や国土のインフラ整備等、未だに多くの課題を抱えています。しかし、2050年の世界GDPランキング予測によると、ブラジルは日本を抜いてトップ5に入ると言われており、近い将来世界の中で重要なポジションを築く国になります。そんなブラジルの農業分野で農大での経験を存分に発揮して仕事ができることに、今からとてもワクワクしています。

最後になりましたが、この文章を読んで少しでも留学に興味を持った人には、ぜひ一度留学について調べたり考えたりする機会を作っていただきたいです。農大の国際協力センターは勿論、トビタテ留学 JAPAN 等、最近では様々な留学プログラムが用意されており、志さえあれば誰でも留学することができます。留学経験は必ず何らかの形で役立ちます。今留学に行こうか迷っている人は、長いようで短い学生生活を後悔のないものにするためにも、ぜひ一度留学を検討してみてください。